



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

4月15日：

2008年世界情報社会・電気通信日

World Telecommunication and Information Society Day 2008

テーマ：身体障害者との関係に焦点

Focus on Connecting Persons with Disabilities

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/Advisory-02.html)

<行事概要>

行事名：2008年世界情報社会・電気通信日 記念式典
 テーマ：身体障害者との関係～すべての人ためのICT利用機会

日時：2008年5月15日 13：00～15：00

場所：エジプト・カイロ
 Cheops Auditorium, CICC (ITU TELECOM AFRICA会場内)

目的：1865年5月17日のITU創設を記念する
 身体障害者のICT利用促進に焦点を当てる
 (詳細は<http://www.itu.int/accessibility/>を参照)
 ITU World Information Society Award 2008の贈呈
 世界情報社会サミット (WSIS) のフォローアップ
 参加者：各国政府、国際機関、民間企業及び市民団体などの幹部・役員

2008年ITU世界情報社会賞の受賞者
 ITU TELECOM AFRICAの出席者及びビジター

世界情報社会・電気通信日は、1865年5月17日国際電気通信連合が創設されたのを記念している。

2005年11月に世界情報社会サミットの結論が出て以来、この記念日は、包括的でより公正な情報社会の構築に向けて貢献した著名人へITU World Information Society Award 2008の贈呈を含む式典で特徴づけられる。本年この賞は、身体障害者にICT利用機会を提供する業績を挙げた人々に焦点を当てている。過去の受賞者には、グラミン銀行のMumammad Yunus教授 (2007年度ノーベル平和賞受賞者) 及びセネガルのAbdoulaye Wade 大統領などがいる。

今年は例外的に、世界情報社会・電気通信日の式典は、カイロで開催されるITU TELECOM AFRICA と協力してCairo International Convention and Exhibition Centreで行われる。式典の様子はライブで会場からウェブ放送される予定である。詳しくは<http://www.itu.int/wtisd/>を参照してほしい。

5月13日～23日までスイスのジュネーブで、過去2年間のポストWSISの実績を踏襲しつつ、WSISの目的に照準を合わせた幅広い行事が行われる。これらの行事については<http://www.itu.int/wsis/implementation/cluster.asp?year=2008&month=0&type='alf'&subtype=0>を参照してほしい。